水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

タイラギの垂下養殖法の開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高木, 儀昌, 森口, 朗彦, 大村, 智宏 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009377

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.

【研究の栞 2008-05】

タイラギの垂下養殖法の開発

水産土木工学部

研究の背景・目的

1．干潟の減少、環境の悪化により、天然資源が減少しているため、本来は干潟の埋在性二枚貝であるタイラギを、垂下養殖法を開発することで増産を図る。

研究成果

1．波、流れに対して、埋在のための基質を安定させる養殖バックを開発
2．カキ筏などの施設を利用した養殖試験を実施し、天然と同等の成長が得られ、10cmサイズの稚貝を1年で出荷サイズの20cmに成長させることができた。

波及効果

種苗生産によりタイラギ種苗が、安価に大量に生産されることで、新たな養殖産業に拡大、発展する可能性がある。

10cmサイズの稚貝が11ヶ月で20cmサイズに成長

カキ筏から垂下された養殖バック

養殖バック内のタイラギの状況

（漁場施設研究室・高木儀昌，森口朗彦，開発システム研究室・大村智宏）